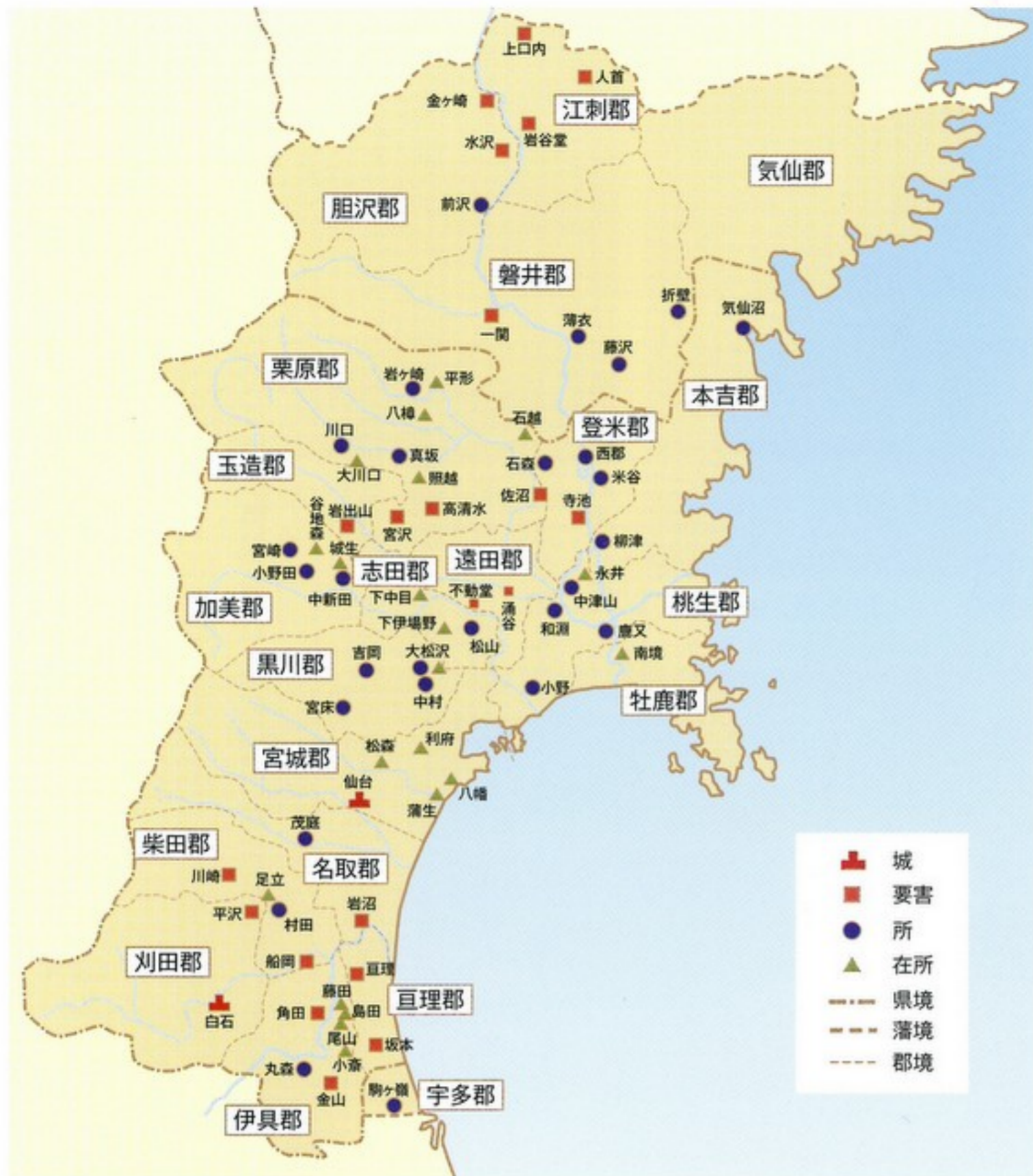
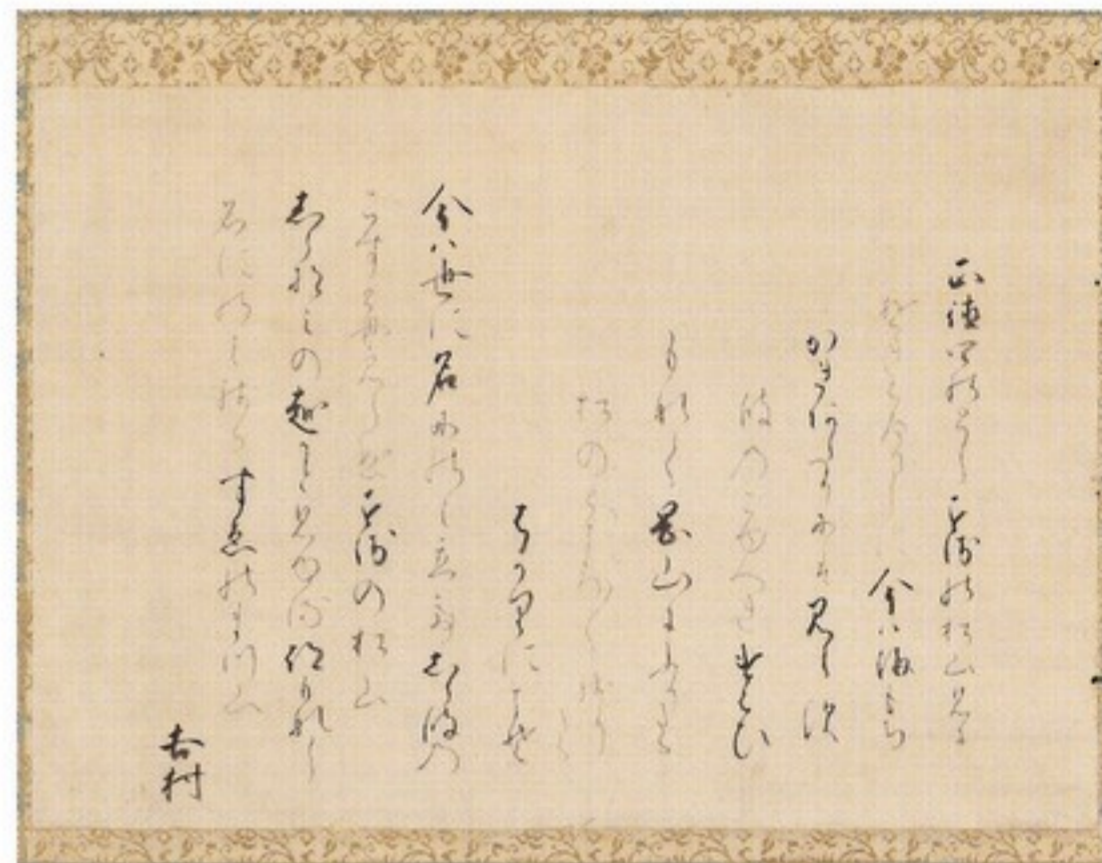


八幡のまち

「宮城郡八幡邑天童氏屋敷ならびに家中・足軽屋敷絵図」には、天童氏の屋敷を中心にその家臣団の屋敷割りが描かれており、約1kmに及ぶまち並みが形成されていたことがわかります。絵図に描かれたまち並みの面影は、現在も当時のまま残る道路や寺社などから垣間見ることができます。



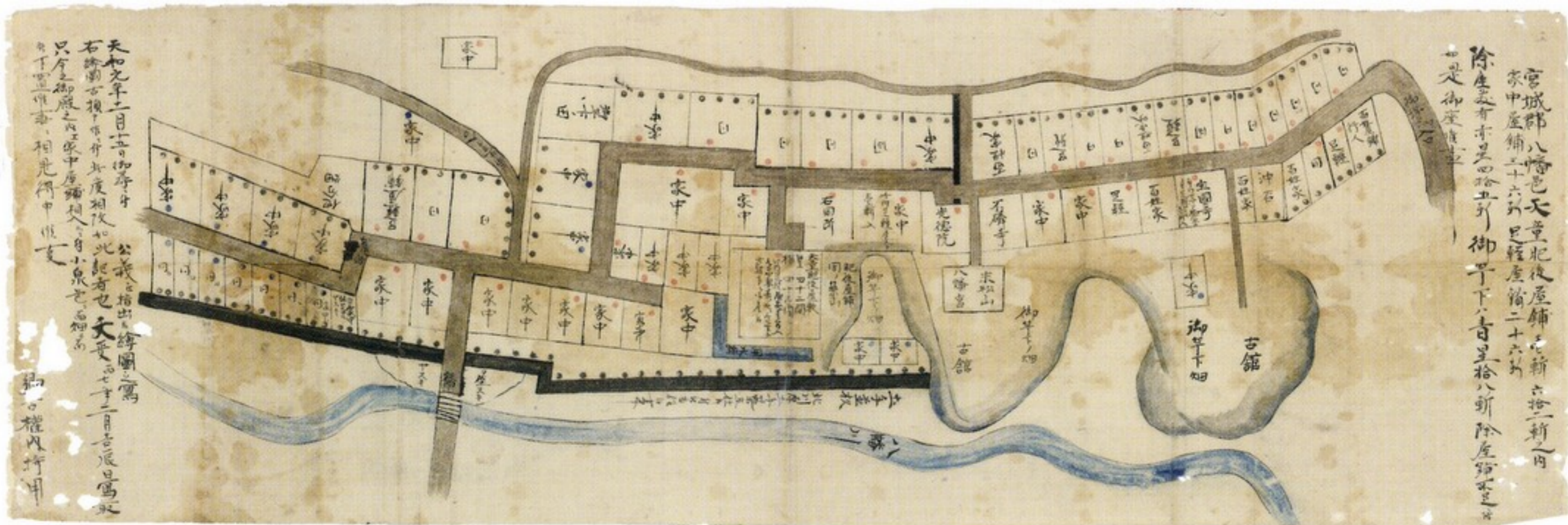
城・要害・所・在所分布図
領内の要地に城・要害・所・在所を置き、上級家臣に支配させました。



伊達吉村和歌
末の松山を詠んでいます。



沖の井 (沖の石)・末の松山 多賀城市 仙台藩が整備した歌枕として有名です。



宮城郡八幡邑天童氏屋敷ならびに家中・足軽屋敷絵図